

とやまヘルスケアコンソーシアム ヘルスケア産業研究会 第3回セミナー

少子高齢化に伴う医療・介護負担が急増する中、健康やスポーツへの関心、健康寿命の延伸を背景にヘルスケア産業が急速に成長しております。

富山県では2019年12月に産学官による「とやまヘルスケアコンソーシアム」が設立され、県内企業のヘルスケア産業への参入支援を推進しております。

今回、福祉・介護事業のニーズ・シーズ、リソースを基にした開発動向・プロセスを含めた情報提供を行い、新たなヘルスケア産業の創出に向けて県民の健康寿命延伸や介護予防等に寄与することを目指し、セミナーを開催いたします。



日時

2020年2月6日(木) 13:30~15:30
受付 13:00~

会場

富山県民会館 7階 702号室
(富山市新総曲輪4-18 TEL 076-432-3111)

定員

30名 参加無料

プログラム

13:00~

受付

13:30~13:35

開会挨拶

13:35~14:30

講演 1

「福祉用具や介護ロボットの開発・普及に係る施策の動向について」

公益財団法人 テクノエイド協会 企画部長

ごしま きよくに

五島 清国 氏

14:30~14:35

休憩

14:35~15:30

講演 2

「眠りSCANを中心とした病院や介護施設における見守り機器開発」

パラマウントベッド株式会社 研究開発部次長

たむら じゅんいち

田村 純一 氏

15:30

閉会

主催 富山県 ・ (公財)富山県新世紀産業機構

【お問い合わせ先】(公財)富山県新世紀産業機構 イノベーション推進センター ヘルスケア担当

〒933-0981 高岡市二上町150番地 富山県産業技術研究開発センター 技術開発館2階

TEL:0766-24-7112 FAX:0766-24-7122

担当:齊藤、長谷川 e-mail: m.hasegawa@tonio.or.jp

講師紹介

講演1 「福祉用具や介護ロボットの開発・普及に係る施策の動向について」
公益財団法人テクノエイド協会 企画部長 五島 清国 氏



【略 歴】

1988年 国立療養所岐阜病院 社会福祉・医療事業団 厚生省保健医療局
管理課
1993年 公益財団法人テクノエイド協会企画部 厚生労働省介護保険福祉
用具・住宅改修評価検討会構成員 経済産業省・日本機械工業連
合会 ロボット大賞審査・運営委員会委員
国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
ロボット介護機器開発・標準化事業 課題評価委員等
福祉用具・介護ロボットに係わる調査研究及び情報の収集・提供に
関する事業、開発及び普及、規格化・標準化に関する事業を担当

【講演概要】

少子高齢化が進む我が国において、福祉用具や介護ロボットは、高齢者や障害者の自立を支援し、介護者の負担を軽減するものとして、また、近年は不足する労働力の代替手段として、その開発と普及に大きな期待が寄せられています。一方、福祉用具や介護ロボットは、一般的に対象者の個別性から少量多品種となり、開発普及には幾つかの課題も指摘されております。本講では、良質な福祉用具等の開発と利活用を促す施策の最新動向について、解説することといたします。

講演2 「眠りSCANを中心とした病院や介護施設における見守り機器開発」
パラマウントベッド株式会社 研究開発部 次長 田村 純一 氏



【略 歴】

2000年 東京理科大学大学院、工学部機械工学科専攻 修士課程修了
パラマウントベッド(株)入社、在宅介護ベッド等の開発に従事
2007年 眠りSCAN®の開発に従事
2008年 製品戦略、新規事業部門にて、企画業務に従事
2013年 スマートベッド開発に従事
2017年 スマートベッドシステム™事業に従事
2019年 研究開発部次長（現職）
医療情報技師／睡眠改善インストラクター

【講演概要】

医療・介護分野に共通の課題である転倒対策は、これまでも様々な対策が実施されています。病院や高齢者施設を問わず、転倒事故はベッドサイドで発生することが多いため、近年では、弊社のセンサーやシステムを転倒転落対策だけでなく、患者や入居者の見守りにも役立てる事例が増えています。今回は、弊社の見守り機器開発や活用事例などを交えながら紹介させていただきます。

参加申込書

必要事項をご記入の上、1月27日（月）までにFAXにてお申込み下さい。
F A X : 0766-24-7122
（事務局：富山県新世紀産業機構イノベーション推進センターヘルスケア担当）

会社・団体名		
TEL		FAX
氏 名	所 属・職 名	備 考